

# Seoul ADEX2023 視察報告

## 1. はじめに

2年に一度（奇数年）に韓国ソウル近郊で開催されている韓国の航空宇宙展示会（ADEX2023）に、韓国航空宇宙工業会（KAIA）より招待があり訪問した。日程の都合で10月17日の1日のみの視察であったが、以下報告する。

## 2. Seoul ADEX2023の概要

正式名称：Seoul ADEX 2023

（Seoul International Aerospace & Defense Exhibition 2023）

開催日程：2023年10月17日（火）～22日（日）

ビジネスデー 10月17日（火）～20日（金）  
の4日間

パブリックデー 10月21日（土）～22日（日）  
の2日間

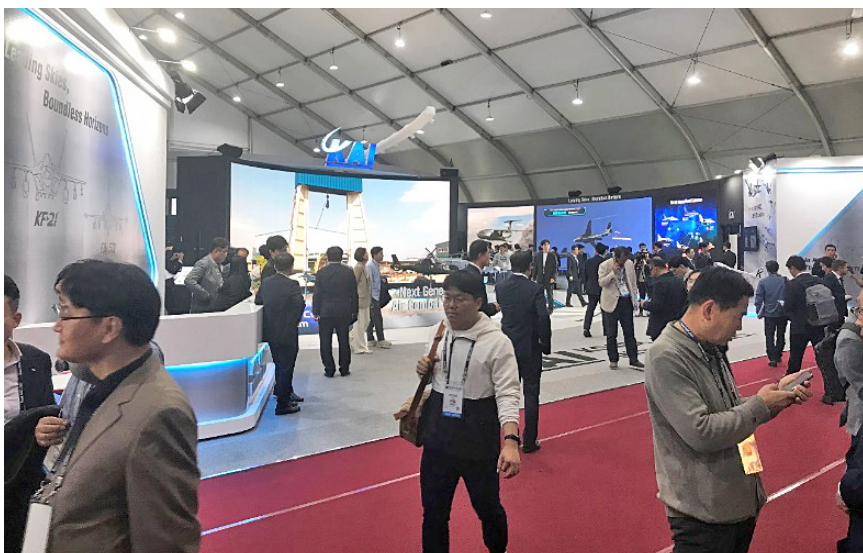
開催場所：ソウル空港（ソウル市郊外南東

部の韓国空軍基地）

主催者：韓国航空宇宙工業会（KAIA）、  
韓国防衛工業会（KDIA）、  
韓国貿易投資振興公社（KOTRA）

## 3. 展示の概要

展示会は、前回（2019年）より拡張され延べ面積で25万平方メートルの敷地に、屋内展示場（大型テント6張）、セミナー会場（大型テント3張）、BtoB会場（大型テント1張）があり、主催者発表では2,000を超えるブースがあるとのこと。屋外展示は韓国軍や米軍などによる航空機の展示に加え、韓国軍の地上装備品等の展示も行われていた。パブリックデーには航空機の飛行展示も盛んにおこなわれるとのこと。来場者数はパブリックデーを含めて約30万人を見込んでいるとのことであった。



会場内の風景（KAIA—韓国航空宇宙産業のブース）

屋外の展示品は軍用機を中心に多くおかれていた。韓国初の国産超音速戦闘機であるKF21（通称「Borame = 若鷹」）やT50/FA50（通

称「Fighting Eagle」）をはじめとする韓国軍の戦闘機のほか、米国の航空機がおかれていた。



（左）はKF21（Borame）（右）はT50/FA50（Fighting Eagle）

#### 4. 現地での主な面談

(1) KAIA（韓国航空宇宙工業会）Vice Chair  
Dr. Kim Min Seok 氏ほか

2023年6月のパリエアショーに続いての面談となり、和やかな雰囲気の中で行われた。ADEX2023での新たな試みは、韓国の防衛装

備品を今まで以上に全面に出してアピールしたことに加えて、米国企業を中心とした欧米企業の多数の参加を得たことあるとのこと。面談では、航空機産業全般の情報交換のほか、当会が行うJA2024（国際航空宇宙展）の話等も行った。



KAIA Vice Chair Dr.Kim 氏（中央）と山岡常務理事（左から3人目）を囲んで

(2) 韓国Sacheon市長Park Dong Sik 氏ほか

2023年9月のエアロマート名古屋の機会に愛知県と産業協力の覚書を結び、そこには航空機産業についての交流も記されているとのこと。今後は、名古屋地区の航空機産業との交流を発展させていきたいとのことであった。こちらでも、JA2024のプロモーションを行った。

(3) フランス航空宇宙工業会（GIFAS）専務理事 Frederic Parisot 氏ほか

短時間の挨拶のみであったが、Tharesやフランスの中小企業とともに出展を行ったとの

こと。

## 5. 所感

防衛装備品の海外展開に力点を置いている印象を強く持つ出展の構成であった。このような取組を支えるSMEsの出展も多数あり、防衛装備品を核として航空機産業の育成が図られていることも見られた。また、会場内にはUAE（アラブ首長国連邦）の国旗と韓国国旗を並べて掲げた場所もあり、原子力発電所の輸出を梃子とした両国間の関係を示すものとして興味深いものであった。



また、先のパリエアショーにおいて韓国の航空宇宙工業会が当会ブースを訪問してきたことがきっかけであるが、今回のような機会

を積み重ねて同航空宇宙工業会との親交を深めていきたい。

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 国際部 部長 羽中田 実〕